

七百遠忌奉行の感想と教化活動への取組み

この「一口報告カード」は、第十六回中央教化研究会議開催の折、参加者に配布され、お答えいただいで回収したアンケートである。記入項目は、管区名・寺院教会結社名・氏名、

- (一) 七〇〇遠忌奉行についての感想、
(二) これから取組みたい教化活動の内容、
(三) 今後の教化研究会議に参加したい部会（1 教学部会、2 寺檀教化部会、3 法器養成部会、4 青少年教化部会、5 寺族教化部会、6 修法部会、7 社会教化部会、8 文書視聴覚部会、9 教化組織部会）である。

北海道西部 本龍寺 伊藤 瑞雄

- (一) 立正大学でも身延山短大でもよろしいのですが、七〇

〇遠忌の事業の一つとして通信教育制度を作って欲しい

と思った。寺族・役僧や一般の方、お年寄りの方でも、
大学・短大の仏教学や日蓮教学を学びたい人もおりま
す。

- (二) テレホン説教に取組みたいと思っておりますが、続け

ていくことのむずかしさも知っておりますので、資料

が多く欲しいのとテレホン説教をなさっている教師の
指導を受けてみたいと思います。

- (三) 寺檀教化部会・社会教化部会

北海道南部 妙蓮寺 岡 観要

- (一) 宗門のエネルギーを掘り起こしたと思う。このエネル

ギーを持続させたい。

- (二)管区教化センターの設立、青少年教化について
- (三)教化組織部会

北海道南部 法華寺 亀谷泰憲

- (一)六五〇遠忌そして七〇〇遠忌と二度にわたり遠忌に相会した事は、至上の喜びであり、機縁に深く感じております。果して報恩ができたかどうか、申し訳なく思っております。この出来なかつた事を七五〇年に向つて精進してまいりたいと思います。当寺には五五〇遠忌・六〇〇遠忌・六五〇遠忌の大きな石塔があり、昔はもつと盛んな遠忌法要が行われていたようである。時代の変化のためか、今日の報恩は金と物で解決しているように思われてならない。古い塔には百万遍和讃とか、千遍唱題とかの文字が刻まれているのには再び反省させられた。

- (二)仏教行事の家庭における習慣化（知識はあとまわし）
- (三)青少年教化部会

北海道南部 法華寺 高橋順学

- (一)一時的なものでなく永続的な事業を考えて欲しかった。
- (二)青少年教化活動
- (三)青少年教化部会

青森県 受源院 工藤鳳観

- (一)遠忌法要については、一応成功したものと大いに評価している。特に法要儀式（池上法要の際）については、池上に於いての薩師五十遠忌以来の感激でした。せっかく若い方が練摩して習得した事ゆえ、後々のためにも法要式講習をして後継者のためにも、実施してほしい（声明講習に特に伽陀等あまり用いていないのもまでも）。又、法要の中に和讃を入れての式は、僧俗一諸の法要として今後機会あるたびに催す事を希望します。
- (二)各施設への慰問布教、たとえば今日三十年来行っている養老院月例供養会、誕生会等とともに、社協会で手の届かぬ（予算の関係上）施設慰問布教（少年感化院・癩患者収容病院・身障者施設）等へ、慰問布教に取組みたい所存。又、保護司の立場から青少年の育成・補

導にも取組みたい。

(三) 法器養成部会

秋田県 本善寺

小川 順道

(一) お祭りさわぎに終わった感もないではないが、大むね良。

(二) 人間再教育が必要と思われる昨今、その基礎となる青少年に仏性開顕の教化をこころみたい。

(三) 青少年教化部会

福島県 法現寺内

齋藤 幸洋

(一) 福島県全体で昭和五十二年に千八十名で身延山にて研修会を開き、五十七年に八百八十名にて身延山団参。

遠忌法要を千名以上にて行い、前進座公演を成功させ、

七〇〇遠忌を奉行できたことをほこりと感じて、これから宗門のために働きたいと思えます。

(二) 県の檀信徒協議会を指導してきましたが、保育所の幼児を現在指導しています。これからも続けていくつもりです。

(三) 寺檀教化部会

栃木県 妙建寺

西口 玄修

(一) 各寺院が本堂や庫裡の改築の口実にしたのが七〇〇遠忌である。しかし、全国唱題行脚はそれなりの意義があったと思う。一般へのアピールには考える点もあった。

(二) 一般に開放して、月一回くらいわかりやすい仏教を教え、合わせて人生相談をしたい（具体的には何も決定していない）。

(三) 教学部会

栃木県 清隆寺内

石井 本顕

(一) なし

(二) 若い世代へのアプローチ

(三) 青少年教化部会

群馬県 蓮久寺

立川 辨祐

(一) 全国各寺院で盛大に記念行事が円成できたことを喜びたい。六五〇遠忌の際は、師僧が奉仕している姿を子

供心に見たが、一生に一度の盛儀に遭えたことを感謝したい。自坊でも五十二年本堂屋根替、番神堂建立。五十四年庫裡改築を癌の闘病生活の中で完成でき、報恩の一端と感じている。

(二) 子供会・ボーイスカウト運動・保育園経営等を作り、現在は人権擁護委員・家庭児童相談室をやっているが、体力的に無理ができないので、地道な教化活動を続けたい。

(三) なし

東京都東部 要法寺 小山内 本静

(一) まあ：良かったのではないかと思う。武道館における盛り上りは感激しました。

(二) 寺（教師）と寺院婦人と檀信徒とつき合いのある人達が、分離しないよう幅広い視野から教化活動を考え、少しずつ行ってみたいと思っている。

(三) 寺族教化部会

東京都東部 妙龍教会 酒井智圓

(一) 会い難き七〇〇遠忌に会い奉り、布教師として布教に専念、一教会担任として本堂兼庫裡建設を発願し、落成を見、御守護と信徒の協力を感謝しております。七〇〇遠忌御報恩に信徒倍增を心掛けましたが、増加を得たが倍增とは至らず、申し訳ないと思えます（広報の事）。

(二) 正しい信徒の育成と倍增、青少年研修と社会教化の面も、努力を心掛けたい。

(三) なし

東京都西部 常泉寺 久古教保

(一) お祭りムード的な感があった。日蓮宗事典の発刊は非常に有意義であったと思う。遠忌法要が大本山、本山等で奉行されたが、法要に修法を行ったのは如何なものであろうか。六五〇遠忌のフィルムを見たけれども、そのような事はなかったように思う。

(二) 社会教化と寺院のあり方を、もっと深めていきたいと思う。社協が、宗務行政の中での位置づけがはっきりしないし、それが機能していない様に思う。教師自身

の自覚や意識の問題でもあるわけであるが、組織化の問題は重要な課題だと思ふ。社会教化を行う事によつて、教師自身の学ぶ姿勢を持つことができる。その効果は大きい。しかも布教のよき場でもあるわけである。

(三) 社会教化部会

東京都南部 立源寺内 石井隆康

(一) 五十年区切りの大行事をただお祭りに終らせない為にも、もっと年令の低い子供達・青少年の参加できる様な方向づけが欲しかった様に思う(五十年先の区切り)にその波を存続：残す為にも)。

(二) 自坊にて、養護施設・幼稚園を設置し、それぞれ三、四十年の年月を経過しているが、地域社会の中における教化活動等(現在民生児童委員)の中から、少しずつでも青少年から老人にいたるまでの諸問題に対応し、その中から何がしかのものを考えてみたい(ただし民生委員は立場、その地位を利用する事は、禁止されているのでなかなか難しい点もある)。幼稚園：ポイスカウト：信徒青年会活動をいう年令別の流れを理想と

して考えていきたい。

(三) 青少年教化部会

東京都南部 一乗寺 金子正明

(一) 七〇〇遠忌奉行がそれなりの円成を見たことは同慶にたえない。しかしお祭りすんで、日が暮れて結局は伽藍が少しばかり綺麗になっただけ、本当の報恩とは教師自身が本当の信仰を身につけることではなかったか。院当局ご指定の如法衣だけが手もとに残って、七〇〇遠忌が終っていった。七〇一遠忌以後は、私が信者になること、それが教化活動の源となると心から思っている。

(二) 以上のような事、信仰をもつ事、これが教化活動の源。
(三) 文書視聴覚部会

東京都北部 福相寺 坂詰教正

(一) おおむね良かったと思う。できれば、東京多摩地区に新寺を建立して、布教研修所を出た人を専任して布教して欲しかった。

- (二) 文書布教
- (三) 文書視聴覚部会

神奈川県一部 常清寺 片山宣英

- (一) 全国寺院が遠忌記念事業で寺観一新したことは、各宗を通じて誇れる。遠忌法要は立派であった。

- (二) 信行会の組織化、教化センターの設立
- (三) 文書視聴覚部会

神奈川県一部 長導寺 板垣禎一

- (一) 第十二回中央教化研究会議における大会宣言に見る、報恩と実践活動を、ますます現実問題として生かす。法要（報恩）に対しては最高。

- (二) 僧風教育の重要性にともない、第十六回大会における各テーマの実践活動。

- (三) 青少年教化部会

神奈川県二部 経王結社 平 妙翔

- (一) 御遺文全文の解釈の本を安価で出して欲しかった。特

に日常手軽に出して使える全文の御遺文を一冊にしたものがあつたらと思つた。

- (二) 言説布教、祈禱
- (三) 教学部会・社会教化部会・文書視聴覚部会

神奈川県二部 実相寺 植坂行雄

- (一) 全体として事業に終始したようだ。これからその信仰運動だと思ふ。

- (二) 地区ごとの檀信徒組織教化
- (三) 文書視聴覚部会

神奈川県二部 妙伝寺 石井鎌昭

- (一) イ、寺院―荘厳の一新ができた（各地の寺院）。

ロ、僧―祖師を通して、宗教者としての自覚を高め、感恩の生活ができた。

ハ、俗（檀信徒）―祖師中心の唱題行の徹底と日常生活の信仰心の定着ができた。

- (二) 宗門へ―縦のつながり、院―教区―宗務所（寺院の連携）の連携を考え直して、強力な教化活動を宗団的に

行う。宗務所内、特に各寺を結ぶブロック単位の信行を進めたい。

寺と住職―住職・教師の研修の仕方を再考し、これに対する資料を、一冊でわかるようなテキストを作つて渡したい。

檀信徒―統一的な教化活動と完全な読本が欲しい。

(三)なし

神奈川県三部 久成寺 村上 弁祐

(一)遠忌を目標に山積していた境内整備のことや、墓地の拡張、他人名儀の土地を寺の土地に取得したこと等がある。それにともない檀信徒も寺に対する意識が強まったように思う。

(二)人生相談を通じて一人でも多く、お題目を唱える人を増やし、尚組織化していきたい。

(三)寺族教化部会

千葉県東部 蓮照寺 井村 大祐

(一)宗門の七〇〇遠忌については可とするが、七〇〇遠忌

以後における布教資料等が(各寺院において)ない。
(二)地域社会の変動にともなう布教伝道を活現されたい。

たとえば、地域の過疎化及び住宅の集合地域における寺院のあり方、過疎地域は寺院の統合化、住宅の集合地域は新規寺院(教会・結社)の建立寺、基本的な行政改革を行わない以外、今日の伝道教団の発展の道はない。

(三)青少年教化部会

千葉県東部 妙宣寺 山田 勝義

(一)宗門、自坊共に一応円成し得た喜びがある。しかし、遠忌後に思いを及ぼせば、いささか喜んでばかりもいられない思いがする。遠忌奉行が将来に向って及ぼすべきものに有形無形の両面がある。有形的には記念すべきものがあつたが、檀信徒教化・法器養成等々無形のものにとほしかった。

(二)第一に法器養成を考えたい。管区内法器の養成

(三)法器養成部会

千葉県東部 光福寺 荒井隆明

(一) 遠忌円成については可なるも、未来にむけての拠点・

内容について乏しいと考える。たとえば団地又は日蓮宗不在地域への方策、土地買収、その道場の管理者の配置等、実質的な広宣流布面が少ないと感じた。

(二) 行政上の市町村に全く一寺もないという場合に、少なくともその拠点となる教会や道場等を、先ず配置すべきである。

(ロ) 各寺に信行会を(どのような小人数でも)結成し、教化活動の母胎、又は細胞とする必要がある。

(三) 教学部会・教化組織部会

千葉県西部 光福寺 児玉常法

(一) 遠忌大事業としては、寺院と信者全国一体となつて終つたが、その後に続く何かがないし、その場の活動のみだったように思える。だから後の人々・次の世代に受け継ぐものを残したらと思う。

(二) 信徒教化もいうまでもないが、これからの日蓮宗・日本国人人々に対しての社会教化・社会布教も織り込んだ

教化活動に取組んで見たい。

(三) 法器養成部会

千葉県南部 妙巖寺 野坂法行

(一) 遠忌は常に祖師の立教開宗をされようとしたお心持ちにかえり、現代に祖師がおられたら何を思われ、何をされるかということを真剣に考え、実践していく一つの節目と考える。いたずらに建物ばかり建立することが報恩遠忌奉行ではない筈。もつと一般社会の人々の心に届く内容が大切であろう。

(二) 今まで仏教や法華経と縁のなかつた人々と縁を結んで行く作業。市街地での布教伝道と、そこで縁のできた人を更に合掌し、唱題をするようにもつていく研修道場の開設(既に実施済み)と、その一層の活発化。

(三) 青少年教化部会・社会教化部会

千葉県南部 徳性寺 清水竜英

(一) いろいろと行事の多かつた御遠忌だったが、僧俗一体となつて諸行事を奉行できたことは、何よりと思つて

いる。せっかく盛りあがってきた宗門の力を今後も持
続させ、そして向上していく為に、私達教師の心がま
えを一層強固に、日々の勤めを遂行していかなければ
ならないと思う。

(二) 寺報の発行、信行会的な組織をつくる。この二つを考
えているが、まだ実現できない状態である。私の誓願
としてがんばりたいと思っている。

(三) 法器養成部会

千葉県北部 実相院内 蓮見高純

(一) イ、数多くの法要で、伝統の上に立った新しい試みに
参加した。くり返し生かしていきたい。

ロ、日青唱題行脚の実施で、立正安国の理解が進んだ。
ハ、(二寺院として)報恩記念として、建築事業に多大
の努力をした。物ができ道場としての認識期待が深
まったが、反面、金銭的事がらの反発で教化につな
がらなかった。

(二) 末信徒教化・青少年教化

(三) 青少年教化部会

山梨県一部 円実寺内 岩田恵嵩

(一) 自坊の感想でしようか？宗門の行事の感想でしようか。
いずれにせよ、七〇〇遠忌が宗門あげて各寺院にても
それぞれ取り行われ、常に遠忌の年である気持で、宗
門及び自坊の発展に努力し七五〇遠忌に向って頑張り
たい。

(二) 身延山のお膝元で高年層の方は、信仰心が厚いので
が、今後は青少年を対象に教化活動を行って行きたい。

(三) 青少年教化部会

山梨県一部 上沢寺 上田本昌

(一) 布教・寺門整備・記念行事等、一往の成果があったも
のと考える。しかし、布教については更に強力な在り
方を考えて行くべきだと思う。教師自身の教学を習う
機会を多くつくるべきである。

(二) 寺族が協力して檀信徒に働きかけること、「法を説く」
ということだけでなく、寺院の機能(敬田院・施薬院・
施療院・悲田院)を活かして、いろいろな面での活用

がなされるべきである。救済事業の多様化を考える事。

一例（生活相談所の開放など）既設を含む。

(三) 教学部会

山梨県一部 神力坊 久本徳明

(一) 宗門として行われた身延・池上・京都法要で、身延法要だけしか一般寺院は出席できなかった事が残念だった。遠忌だから宗門法要をするのではなく、毎年宗門法要を希望する。

(二) 過疎の激しい町の為、若い人が年々少なくなるにつれ、寺も無住が多く、住職名はあっても名前だけが半数以上、檀家に葬儀があっても住職は欠席というようになってしまった。子供達に聞くと、故郷だから外に出ても毎年帰ってくるという返事。そういう子供達に故郷の行事（我々の子供の頃の行事）を教え、子供が親になり子供をつれ帰るよう、青少年教化をしてみたい。

(三) 青少年教化部会

山梨県一部 善行寺 山本是光

(一) 檀信徒・寺檀の結束に大いに役立ったと思う。布教助

成費の半額は、費用がかかっても、一度院へ納め、改めて助成金として寺院へおろしては、寺によっては納める半額しか集められない。

(二) 精神病的な人を組織的な活動の中で、導く方法。御遺文を信者とともに読み、解説できる小冊子を作成。

(三) 青少年教化部会

山梨県二部 浄善寺 佐藤智宣

(一) 知恩報恩をスローガンとして、七〇〇遠忌を奉行してきたのであるが、二十代の世代になると、物質中心主義になっている現状をみて知恩報恩を知らしめ、人間としての正しい生き方を聖人の御遺文より伝道したい。

(二) 青少年にもっと信仰をもつ活動をしたい。

(三) 青少年教化部会

静岡県東部 蓮正寺内 田中慈康

(一) 各遠忌法要（池上・身延・武道館等）は、すばらしいものであった。また多くの出版物（本）は、ありがた

かった。各寺院では遠忌に何をやって良いか、迷っている所が多かったようである。少し無駄なポスターが多かったように思える。

(二) 青少年教化（修養道場）

(三) 法器養成部会

静岡県東部 蓮正寺

田中 慈潮

- (一) お祭りに終った感じ、これを機会にもっと掘りさげて檀信徒の教化・信仰をうえつけるムードづくりが必
要。

(二) 文書伝道、特にわかりやすい法義の解説。

(三) 文書視聴覚部会

静岡県東部 通猛寺

高田 政行

- (一) ややうわべだけの花火のような感あり。

- (二) 老人相手でなく、壮年・青少年を対象とした教化活動。

- (三) なし

静岡県西部 善立寺

渡辺 貞善

- (一) 盛り上がりがあつて、行事としては立派に奉行する事ができたと思いますが、今後、伝道宗門として各教師

が全員布教師の自覚にたつて、たとえ一人でもいいから法華經へ入信させる様になりたいと思つている。

- (二) 私の場合だと、自分自身が熱意をもつてお經を読み、

不軽菩薩の意を体して一文一句、たとえ一軒一人でもいいから法華經に入信させたいと思つている。

(三) 寺檀教化部会

静岡県西部 本立寺

平岡 日静

- (一) 御遠忌としては一応成功したであろう。しかし御遠忌奉行全体として華麗ではあつたが、内容そのものが表面の流れと一致したであろうか。疑問をもつ。立派な紀要を配布されたが、その金の何分の一かを、寝たきり老人の何かに使つて助けた方が、効果的ではなかつたか。紀要そのものももっと粗末でも良いが、対社会的に、宗門の名をもつて人の生きる道に使つて欲しかった。御遠忌の諸行事の中で、全国的に寺院が立派になり面目を一新したことは、宗門の発展を表徴して

うらやましい事である。檀信徒教化の為、金を惜しまず地方寺院の便宜をはかり、伝道宗門の実を挙げたい。

- (二) 間口を拡げて取上げるより、二・三点に絞って深く掘り下げ、その取組み方をディスカッションした方が効果的であろう。今までの教化活動では、ただしゃべっただけで終り具体的なものがない為、日頃の悩みを訴え、解決の方策を探りに来ている者が多い。具体的に何かつかめるもの、与えをもらいたい。青少年の非行問題、家庭の老人と若い者の衝突、高齢化社会の対策等、具体的長年にわたって一つ一つの問題を解決するようにしたい。

(三) 寺檀教化部会

静岡県西部 妙立寺 吉塚 通教

- (一) 大変立派に奉行でき、関係の皆様方の御努力を本当に感謝いたします。また紀要の立派さに驚きました。あれだけの費用があるならば、各寺院教師に法華経一部

(携帯版・ポケット版)と祖書(たとえば、平楽寺版〈洋とし〉・靈断師会発行の祖書)を上・下二巻とし全

教師に配布し、今後、諸会合に常に持参させ講議などの時、ページが同時に開巻でき、常に法華経と祖訓に密着した生き方・会合ができるのではないかと思う。

- (二) 檀信徒をいかに組織し、各家が各自が信仰を中心とした生き方、活躍してもらいたいと思う。新聞紙上にキリスト教徒の場合、クリスチャンということができるが、仏教徒・日蓮宗徒である事がでない。仏教徒・日蓮宗徒の自覚の上、信念信仰の名のもとに、家庭生活・社会生活に生き、活躍する人をつくりたいと思う。

(三) 法器養成部会・教学部会・寺檀教化部会

静岡県中部 興徳寺 松永 泰静

- (一) 自他ともに良くやったという反面、このことが信弘通にどれだけ影響し得たかという点、甚だ疑わしい。
- (二) いかにしたら、各家庭に信仰をいれていくか。
- (三) 寺檀教化部会

静岡県中部 立正威徳教会 望月 忠義

- (一) 七〇〇遠忌は終わった。末法で弘経する我々は、七〇〇

遠忌は一つの節であるが、お祭りで終わった感がある。

武道館における式典を一万人の大合唱、これを実行したかった。せめて足を上げて踊る時間でも。出版本としては、池上からの寺院大鑑が一番よかった。

- (二)私には修法師であり、教化活動は修法一本にしほっていききたい。日蓮宗としての大きな場の中において、あれもこれもとはいかぬので、三十年間なし続けた修法教化活動に専念したい。したがって、何ら私の教化方法に変化なし。

(三)法器養成部会

静岡県中部 吉祥寺 渡辺 是心

- (一)行事については、地方的に定着している行事は発展させたい(護法運動等)。また出版物は、無駄なものがかかりあったと思う。紀要もお金がかけてられているわりに、あまり読まれてはいない。

(二)なし

(三)寺檀教化部会

静岡県中部 玄竜寺 中川 恵浄

- (一)遠忌の目標に向かって、一丸となり円成出来たことは何よりで、これからもそのエネルギーを聖誕七五〇年に向かって教化面で活用し、宗門の面目を発揮して欲しい。

- (二)寺檀教化・法器養成にむかって一貫した教育と、宗門としての教育目標をしっかりとて、実践して欲しい。勿論、我々の責任の重大性を自覚、反省し、協力いたすつもりです。寺庭婦人指導の手引も、出来ましたらお願いします。

(三)寺檀教化部会・法器養成部会

静岡県中部 妙立寺 近藤 義見

- (一)御遠忌の全国大会、地方大会は盛大に行われ、成果があったと思うが、出席者は一寺院二名く五名程度で、大部分の檀信徒は知らないで過ぎてしまったので、淋しく思った。自坊の御遠忌で良かったと思うことは、報恩大宝塔を立て、宝塔の中へ、檀信徒の唱題百万部の修行表を納めたことである。

(二) 社会教化の面で、いろいろ研究し実践していききたいと思う。

(三) 社会教化部会

三重県 本覚寺

伊藤 立教

(一) 個人的には、住職し、寺観が整備され、荒行に入るなご感慨深いものでした。住職して思うことは、「毎々が御遠忌」ということ。気を抜くひまはないということです。これは宗門にもいえることで、七〇〇遠忌が終つて気を抜けているひまはありません。

(二) 教師の資質の問題―現状は現在の教師が関わりあつて生じた問題、近在の教師同士が「異体同心」でいられない現実を、「教師らしさ」でお互いに襟をただす必要がある。「教師らしさ」が、どうすれば身につくか、外見・中味とも考えて欲しい。

(三) 法器養成部会

愛知県尾張 妙延寺

太田 鳳苑

(一) 事業をすることによって、檀信徒の信仰増進につながる

り、地域社会における寺院の位置づけもできたと思う。せつかくの機会であつたので、そこに結果をした力を持續させるよう努力することが大切だと思う。

(二) 青少年問題・社会教化等、大変重要なことであると思いますが、いずれも眼に訴え、耳に訴えていくことこそ大切だと思ひ、文書伝道・視聴覚活動をしていきたいと思う。

(三) 文書視聴覚部会

愛知県尾張 地福寺

林 円修

(一) 宗門としては全体としてよく出来たと思うし、自坊の記念事業も、ほどよくやれたと思う。

(二) 子供会とその育成会(父母)・教学研究や宗門史

(三) 教学部会

愛知県尾張 妙禅寺

吉田 友仁

(一) 宗門奉行、祖師は喜ばれたか、像法時代の再来。

(二) 新妻学級の信行入門。嫁姑関係の身近な問題から檀家と寺との関係、日蓮宗とは…を今後は非開きたい。

(三) 法器養成部会

愛知県三河 立正長春教会 小幡潮頭

(一) 宗祖七〇〇遠忌の各行事を通じて、私の教会でも大いに盛り上がり、昨年暮より現在教会が狭いのと駐車場のない事とで、寺院建立の話が檀信徒より登り、隣町に土地を購入し、三年計画にて寺、庫裡の建設に入る事と成りました。役員を各行事に出席させた事が発端の気がします。

(二) 青少年教化—本年夏休み中、檀信徒の子供(小三年〜中二年)中心に二泊三日の研修会を行い、唱題行・道徳・自我練習を中心として(夏休みの宿題も)行いましたが、やはりテキスト不足と、手不足にて満足するものができなかった。本年度は一般をも含めて行う予定で、種々の参考が欲しい次第です。

(三) 青少年教化部会

愛知県三河 妙恩寺 鎌田行学

(一) 実に素晴らしかったと思います。この成果をどのよう

に生かしていくか、その方策ははずかしいが、まだ方針が定まっています。

(二) 現在取組んでいる、家族ぐるみの信仰の充実をはかり、更に未信徒の信徒化、信徒の檀家への道を増進していきたいと思うし、他の寺院との交流をはかり、教化方法を忌憚なく語り合つて総弘通をめざしていきたい。

(三) 寺檀教化部会

愛知県名古屋 法華道心教会 蟹江一肇

(一) 初心にかえつて日蓮聖人の思想・教化・信仰・給仕等、あらゆる点において見つめることができ、尊い時点であったと思う。ただし一部お祭り気分が出ていた面が多々あったと思う。

(二) イ、従来つちかつてきた、法座活動の強化によって内容の充実をはかりたい。

ロ、教義を明確にしていくために、文書活動等を強化していきたい。

ハ、日蓮聖人の心・思想等を掘り下げて学ぶと同時に、檀信徒に教化していきたい。

(三) 寺檀教化部会

岐阜県 常在寺 北川 英生

(一) 単発的行事から持続性ある布教活動への移行の困難性を感じる。

(二) 社会問題に開かれた寺院活動を持続していきたい。その為、布教の為、媒体となりうる事物(寺の内外とも)の再検討が必要である。

(三) 社会教化部会

岐阜県 実相寺 若園 潮純

(一) 身延大会、京都大会に出席し法悦に浴し報恩行が実践できました。この成果を教師自身が自覚し、教線拡張に邁進せねばならない大会に、檀信徒も参加し寺の護持に一段と力を入れるようになった。

(二) 宗徒の自発的な集まりを作り、寺院を自由な集会の場所として組織作りを考えている。少しでも檀信徒と心のふれあいを多く持ちたい。(小学・中学生の青少年のお経練習・老人の夏の暁天講座・信行会・茶の湯のお

手前等を現在実行している。)要望としては、宗門は若い教師・布教者養成に力を入れ、教化活動に能力が発揮できるように努力していただきたい。

(三) 青少年教化部会

大阪市 善遠寺 佐竹 貫龍

(一) 道一すじで終点、くたびれて今一服、ガソリンを注入中。

(二) 非行大人の教化。保護司として非行少年に接して彼等の動きをみると、非行大人の教化が先決のように思う。

(三) 社会教化部会

大阪市 明浄寺 福永 孝隆

(一) 宗祖日蓮大聖人報恩法要、信徒の布教教化に、布教師会より講師をお願いし布教、婦人部より奉納、踊りにより報恩法要厳修できた事を喜び感謝している。

(二) 青少年の教化と信徒の和合

(三) 寺檀教化部会

大阪市 宗林寺 有本智心

(一) 檀信徒に日蓮大聖人の教えをはっきりと伝え、宗門の結果を示すことができ、大変良かった。

(二) 地域子供の教化（一例＝夏休み、春休み、又は日曜日等にお経を教える）。この活動を通じて大人と共に信行会を組織し、未信の人を含めて抜げていきたい。

(三) 教学部会

大阪市 雲雷寺 伊丹栄彰

(一) 寺院記念事業が完成し、檀信徒教化研修の法城の活用ができる事は誠に有難いことである。七五〇年に向けて精進しなければならない。

(二) 檀信徒に対する教学および信行の活発化。地域社会に対する宗教心の徹底化をはかる（視聴覚布教を含む）。

(三) 文書視聴覚部会

大阪府三島 円通寺 井上龍芳

(一) なし

(二) 住職経験の浅い自分にとって分からないことばかりで

ある。そんな中で日頃感じていることは、若い層がもつ

と宗教に対して意識すること。それを依りどころとして生きられる。そのために何をなすべきか？教師の姿勢、檀信徒への教化、被差別部落への取組み。

(三) 青少年教化部会

大阪府三島 本澄寺 三好龍孝

(一) 特になし

(二) 歴史的な遺産としての既成寺院を地域社会の中に生かすこと。

(三) 社会教化部会

大阪府三島 広宣寺 長谷川鳳晃

(一) お題目の輪を、これからももっとと広げていきたいと思う。

(二) 教化活動という、すばらしい機関が宗門においてあるが、宗門の全教師がもっとと理解し、多くの参加と地域教研の輪をもっとと抜げてほしいと思う。

(三) 教学部会

大阪府三島 妙徳寺 原 智栄

- (一) 当寺は以前単立寺院であったが、昭和五十五年日蓮宗に復帰した。お蔭で七〇〇遠忌の色々な行事に参加できて、非常に感激している。今後は、地域の寺院同志がお互いに助け合い、檀信徒教化に努力したいと思う。
- (二) 信行会等、月例会的な集いを持ちたいが、檀信徒の地域が広いので仲々取り掛かれないでいる。自己研修のための時間をとりたい。

(三) 文書視聴覚部会

大阪府豊能 円珠寺 山下 文浩

- (一) 管区挙げての七〇〇遠忌を行い、年に六カ寺、三年計画で奉行した。従って檀信徒は当寺だけに止まらず、各寺へ参詣するので盛大に奉行できた。又、遠忌中に立正信行会（若年者）、立正身延会（身延研修修了者）等が発足し、以後、各会幹事のもと研修に取組んでいる。

(二) 右記信行会等の輪をひろげると共に、これを各寺で行

えるよう教師研修の実施と、全員を通じて未信徒への教化（団地への進出）をはかりたい。

(三) 教学部会

大阪府豊能 蓮華寺 桑木 正浩

- (一) 遠忌を迎えるに当たり、三年間毎月一日、寺で朝六時より七時まで、唱題行を修して来たが、各檀徒が各家庭において法要・お勤めが一日の生活の基盤となり原動力となっているか、成って行くように今後も努力がいる。

(二) 檀家を信徒に、心の再生。

(三) 教学部会

兵庫県東部 大聖寺 猪俣 康光

- (一) 遠忌の燎原の火は宗門の発展に大きな貢献となった。七五〇遠忌に足がかりとなる事を信じる。

(二) 今回が初めての参加で、教研の熱心な討議に対して悦びを感じた。これからの大きな問題は法器養成にある。求道心は勿論のことながら、大きく眼を国際的に向け、

カントの「古人のあとを求めるのではなく、古人の求めたるを求める」求道心へ向上したいものである。

(三) 法器養成部会

兵庫県西部 妙典寺 井本学雄

(一) 遠忌記念事業も苦勞して出来上ったが、檀信徒に合掌運動が拡まつてきたことが大変嬉しく感じている。

(二) 社会教化に目を向けつつ、現在一番問題になっている青少年教化に力を注いで行く決意である。

(三) 青少年教化部会

兵庫県西部 妙勝寺 大岩祥峰

(一) 六五〇遠忌は幼少で稚児に出仕したが、幸いに七〇〇遠忌を迎えさせていただき、無事円成させていただけたことに、感激と報恩に感謝している。

(二) 今回の中央教化研究会議の議題は、当然これからの布教に役立ち必要で、将来への糧となることと思う。

(三) 寺族教化部会

兵庫県西部 宝塔寺 増井恵広

(一) (イ) 宗祖七〇〇遠忌に、住職として奉行し得たことを無上の喜びと感じている。

(ロ) 本堂、諸堂の屋根替等、遠忌事業が計画通り完成できたのは一に宗祖の御徳と思っている。

(ハ) 七〇〇遠忌奉行にかたむけた、住職・檀信徒の熱意を持続させ得るか否か、今日反省しきりである。

(二) 私(住職)自身の信仰心の向上のための精進。

(三) 法器養成部会

京都府一部 大輪院 石田良正

(一) 宗門に対しては、経費の割には残るものが少なかったように思う。自坊については、法要のもち方、営膳面、教化内容等に留意したが、不十分な点もあった。

(二) 草の根平和教育の推進

(三) 社会教化部会

京都府 道入寺内 風間随成

(一) 宗門法要をはじめ、各寺院において報恩法要が奉行さ

れたようだが、伝道教団として宗門においても、各寺院においても、布教・伝道に対する力の入れようが弱かったように考える。ポスト七〇〇遠忌は是非この点に留意して……。

(二) 信徒教化および地域社会教化への推進。

(三) 青少年教化部会

奈良県 常照寺内 大原 広昭

(一) 全国的な報恩大法要等による信徒へのよびかけは良かったと思うが、地方に及ぶ反応が少なかつたように思う。もともと人々の個人にまで通じた行事を多く欲しかった。

(二) 現在も行なっているが、行脚による民家一戸一戸に対しての伝道が続けて行きたい。

(三) 法器養成部会

奈良県 啓運寺内 木村 泰存

(一) 宗門事業で報恩を表現する唯一の年であつたが、今ふり返つてみると、山門建立とか庫裡建立、増築等、寺内、宗門のための事業だつた感が強い。しかし中央や

各地で大法要を行ったことは真に嬉しいことで、そういうところにおいて、布教(一天四海皆帰妙法)にながつていたと思う。宗門の自己満足化に陥らぬように、もつと宗門外への拡がりがあれば、もつと良かったと思う。

(二) 自坊内のことのみになるが、テレフォン説法、月例写経会、パンフレット発行(季刊程度)に取組みたい。

(三) 寺壇教化部会

和歌山県 白光寺 長橋 啓運

(一) 院・教区・管区・各山におけるご報恩ご遠忌の奉行の場に参加をして、寺壇異体同心の姿を見聞し感激したが、奉行期間が短かつた様に感ずる。

(二) 法華経薄縁の地であるので、初心に帰り、今回中央教研のテーマそれぞれに取組んでいきたい。

(三) 法器養成部会

福井県南部 妙光寺 浅野 章治

(一) 自分なりに七〇〇遠忌を迎え、終えたと満足している

が、考え方によつては、お会式は毎年やつてくる。七〇〇遠忌七〇〇遠忌とさわぎ過ぎた点もあるように思う。

- (二) 教箋の発行、自分自身の信仰心高揚。又、檀家を信者(法華経の、日蓮宗の)に導く。
- (三) 法器養成部会

福井県中部 妙稻寺 中條良裕

- (一) 特記なし。
- (二) 青少年教化について
- (三) 社会教化部会

福井県北部 円寿寺 森 恵司

- (一) 昭和五十六年春、七〇〇遠忌の法要を務めたが、夢のあとという感じである。ただ人を集める方法について、いくらか分かった様な気がした。

- (二) 声のボランティア(本をテープにとり、盲人の方々に聞いてもらう)をするために今、研修(発声・アクセント)に通っている。できるようになれば、仏教書を通

主にテープ作りをしたいと思う。

- (三) 教化組織部会

石川県二部 本土寺 法花堂 見英

- (一) 私の個人の御報恩として、仲間と共に二年半、月一回の辻説法と、七〇〇遠忌に向けて婦人会・青壮年会を結成し、底辺の力を結集させた。お蔭で檀信徒若者男女一体となって、七〇〇遠忌を迎える事が出来た。宗務院のやり方を見ていると、各寺院に相当の負担をかけながら、パンフレット類の印刷等で相当の無駄使いをしたように思われる。寺として利用出来るものが、ほとんどなかった事が残念である。

- (二) 田舎の為、法要・葬式屋的存在の様に檀家に思われてきた。檀家自身も法要・葬式さえしてくれればと、思っている様に見えるので、個々の信仰を発掘したいと考え、少年部・青壮年部・婦人部等、年齢別の各部をつくり、その上で全体的なものにして行きたいと思っている。対外的には非行少年を更生させる為の施設をつくりたいと考えている。

(三) 教化組織部会

石川県二部 本延寺 河崎 俊栄

(一) なし

(二) 平和運動

(三) 社会教化部会

新潟県東部 妙伝寺 渡 辺 泰 修

(一) イ、七〇〇 遠忌にあり、管区・自分の寺の行事に参加

出来たということは、一つの区切りとして、今後の
発展の為に有意義であった。

口、やや表面的に華やか過ぎる面のみ多かつたと思う
(行事・予算)。

(二) 檀信徒との、一層の結びつきをはかりたい。その為の
方法等。

(三) 寺檀教化部会

新潟県西部 妙広寺 竹岡 智宣

(一) 御遠忌奉行は物心両面誠に充実していた次第であるが、

この奉行を恥かしめるようなことのないように、今後
一層の精進をしなければならぬと思う。そうでない
と、自分自身に対しても、又、骨を折らせた檀信徒に
対しても面目ないことになる。

(二) 檀信徒に対して色々の方法はあるが、とにかく法華経
と御遺文(即ち宗祖の教訓)を常に伝達しなければな
らないと痛感している。殊に信者と違つて、檀家はそ
のことをあまりにも知らない……これは住職の責任で
あると思う。

(三) 法器養成部会

新潟県西部 善勝寺 佐原 智雄

(一) 地方寺院の多くは、七〇〇 遠忌記念事業の推進には力
を入れていたようである(何もしない寺院も多々みら
れたが)。それはそれなりに意義のあることであるが、
反面、信徒の教化にどれだけ力を入れて実践したかに
ついては、甚だ疑問が残る。要は七〇〇 遠忌を契機と
して、檀信徒を正しい信行に導くことこそが、大切に
はなかつたらうか。物よりも心の問題こそ、肝要であ

ろうと考える。

- (二) 一人一人の檀信徒を、その人に応じた化導により教化していききたい。時に従って種々に法を説くようにしたい。護持会は当寺では、単なる経済的な援護者として、寺の經常費の支出や建物、境内地の護持、維持にのみかかわってきていたが、教化、信仰の集団、活動の母胎として脱皮していくように取組みたい。これがため自己の研修に励んでいきたい(実力養成)。

(三) 教学部会

山口県 妙蓮寺

吉本前教

- (一) 遠忌を期して自坊をはじめ宗門全体の各種施設の整備・充実は見るべきものがあり、同慶にたえないが、この多大なる財施に対応して、我々教師が法施を充分になし得なかった。宗門の総弘通が叫ばれる時、大いに多角的布教を展開したい。

- (二) 教育の荒廃等、各種社会問題に苦しむ民衆に対して、如何に救済策を講ずるか? 教学と倫理の一体を期して、家庭倫理(修身)読本を発行したいと思っている。

管区教師の養成のためにも自己研鑽に励みたい。

(三) 法器養成部会

鳥取県 学成寺

都 龍張

- (一) イ、報恩というテーマに基づき、檀信徒を結束させる事が出来た。
ロ、法城―伝道拠点―として整備拡充する事が出来た。
ハ、ただし、教化内容については、今一步の感が残った。

- (二) 教学の振興なくして教線拡充は望めない。

イ、(教師)僧風の再教育と望ましい人材養成、及び教師間の相互連携と研鑽。

ロ、(檀信徒)御書、殊に消息文の解説。それを通して信仰をたしかめる事。

ハ、(青少年)「おはよう」挨拶運動と気くばり運動。

(三) 法器養成部会

岡山県 妙因寺

平野光昭

- (一) 日蓮宗にとっても大きな節にあたる時だったために、

宗門は勿論のこと、各寺院にとつても、一つの燃える時だったと思う。その時に何をしたかが問題であろうが、宗門的には諸々前々から計画をたてられ、まず円成なされたように思うが、自坊のこととなると、やはり反省点が残る。まず企画が遅れたこと、自坊の修理が急であつたこと等、充分に検討できぬまま動き始めたこと、又、教化が充分になし得なかつたこと等があげられる。ただ遠忌法要を機に、檀信徒が寺の動きに注目してくれたこと、結びつきが深くなつたことは、せめてもの成果であろうか？

(二七〇) 遠忌を反省しながら今後の教化を考えねばならぬが、時が過ぎると、又もとの状態になつてしまふところが至らぬところである。当山は、檀徒が遠い地区にわたる。その檀徒の教化を如何に進めたら良いかが、今後の大きなテーマである。寺に集めることが難しい(遠距離のため)、その檀徒を如何に寺に来てもらうか、又、青少年教化問題、これは日頃の住職の触れ合いによろすが、近くの子供はまだ触れる機会もあるが、遠い地区の子供とは、まず触れ合うことがない。子供

の集いの充実も考える。多くの人の教化もまず足元の一人から始まることを信じ、まず近くの人、近くの子供に、できることから始めていきたい。

(三) 青少年教化部会

岡山県 成就寺 広本 栄史

(一) 宗門として御遠忌の七カ年計画をたて、各年毎の教化目標を定めたことは、檀信徒に対し変化を感じさせ、大変良かった。最終目標は「知恩報恩」「合掌で光を」で結ばれ、良かった。各教区管区の大会、各寺院での記念事業・記念行事・大法要等、すべてお祖師さまに対する報恩奉行ということを、住職・布教師が宣布し盛り上げ、参加しなかつたら自分だけ取り残されるのではないかとさえ感じさせたことは、大成功であつた。御遠忌を機に色々の組織作り、教化の方法など各教師が工夫をこらし、今後の教線拡張に役立つものと思ふ。

(二) 常に寺院に関心を持たせる方法を考えていかななくてはならない。その為には、青少年の育成に力を入れてい

くことが、将来の寺院護持、信仰の相談につながるものと思う。宗門としては、御遠忌と同じように特派布教師をそのまま継続、布教師に任命すべきである（宗門としては月給を支払うわけではないから）。宗門・各教区・管区・各寺院と教団としての統一された布教体制の確立を強力に指導されたい。宗門というばかりで、みんなばらばらでは、どうすることもできない。逆に言えば、各寺院が、一人一人の檀信徒教化をしていくことが基本である。方法は座談形式が一番効果はあがる。又、寺院の奉仕活動（掃除その他）をさせ、自分の寺であるという認識を持たせることが最も大切である。

(三) 法器養成部会・青少年教化部会

岡山県 龍測寺 浅沼眷昭

(一) 特派布教・大法要・唱題修行、この三本柱が宗務院から提示されたが、肝心の唱題修行は単なる名目（それらもはずされた場合が多い）で、在来型のごく短時間のものに終った場合が多いようで、この点は残念である。

統一信行で提唱された唱題行を、この時こそみっちり修行すべきであった。武道館での全国大会は大変すばらしいものだった。特に自我[□]による行堂音楽を伴った、唱題行脚の青年僧と共に唱えたお題目等、清興によつてでなく、法要自体、唱題修行自体で感動させられる大会を、今後も持ちたいと思う。

(二) 自分自身の行を深める。特に唱題行を中心として。檀信徒と共に唱題行を行う機会を多く持つ。輪番奉仕など団参を活発に。

(三) 文書視聴覚部会

岡山県 妙乗寺 村上妙寛

(一) 宗務当局と地方寺院とが一体化して、一つの目的のために邁進出来て、宗門人としての自覚に大いに役立つ。自坊においては、檀家にアピールする材料となり、寺檀和合の大きなチャンスだった。当山においても、本堂の屋根替や庫裡の一部新築など出来たが、ご遠忌があったればこそと思っている。時々活を入れるためにも、又報恩の意識を高めるためにも有意義であった。

(二)今の老人は、子供に頼ることを前提として子育てや、

自分の老後対策をたてていた。それが戦後の核家族化風潮で糸の切れた風みたいになっている（これから年をとっていくものは、老後の生甲斐とか収入方法などを考えているが…）。寺院の開放、文書伝道、老人のサークル活動などを通じて、それらの人の風糸になつてあげたい。

(ロ)檀家を如何にして信者にするか、又在家、他宗からきた寺族を真の信仰に目覚めさせるために、所作仏事に徹していくことなど、先ず足元から固める教化活動と取組みたい。

(三)寺檀教化部会

岡山県 本成寺 井藤 太然

(一)立派に円成出来たと思つている。

(二)地域社会への働きかけを試みたいと考えている。

(三)教化部会

福岡県 尊寿寺 上田 進護

(一)非常に良かった。ただ映画「日蓮」は極めて悪評。

(二)教学の現代的運用！ 展開！

(三)教化部会

福岡県 真浄寺内 中村 潤一

(一)各寺それなりにベストを尽したようだ。これからが大切と思う。

(二)テレフォン説教、信徒セミナー、講演会

(三)文書視聴覚部会

長崎県 日誠寺 森下 龍浄

(一)自分の修行が一步進んだという実感を、ありがたくかみしめている。

(二)なし

(三)なし

長崎県 法宣寺 松下 昌瑞

(一)七〇〇遠忌を通して、檀信徒に信仰心を深めることができ、寺門の護持の心が強くなった。

(二) 青少年の教化活動。少年の非行の激増に伴い、日曜日における宗教教育をほどこしたい。

(三) 社会教化部会

長崎県 妙福寺 井上龍栄

(一) 長期間にわたっての計画等により、本当に盛り上った、世紀のご遠忌が奉行されたものと思う。

(二) 青少年の教化と社会教化活動に取組んでいくと同時に、これからそのために、法器養成が特に重大視される。

(三) 社会教化部会

大分県 妙栄寺 掛橋泰寿

(一) 僧俗共に遠忌奉行に関心を持った者と、関心を示さない者とあったと思われる。それは、日常生活の中で生かされ、生きていくという自覚にかかっている問題とも思われるが、今後、七五〇遠忌に向けて生きなければならぬ私共の責任において、祖師の行願を宣布して異体同心の和、仏子更には仏使の自覚まで止揚して、世界平和の達成に微衷を傾けるよう指導する必要がある。

る。

(二) 何れを取っても重大でないものはないが、私個人としては、文書視聴覚部会を教化活動の基本にしたい。だからといって、本化別頭と仰せられた大聖人の教学が、基本的に未完である。むしろ大聖人によって完成されたものが消化されていない様に思われる。例えば祈禱本尊鬼子母神というが如き本尊に対する思考が散慢である。そのためには基礎教学の確立が大事だと思う。

(三) 教学部会

大分県 法華寺 菊池泰瑞

(一) 全国大会(正当会)に向けての教区(前会)・管区(前々会)・単位寺院(前々会)が奉行され、成功した事を踏まえ、(計画年次を)降誕七〇五に向けて発進させたい。

(二) 全国過疎、過密寺院対策のため、各市町村単位に一カ所は寺院を設立、または統廃合する運動を展開する。

※宗教法人の解散執行を断行し、(無住寺・代務寺院等)財源を確保、宗門直割寺を増やしていく。

(三) 寺院統廃合(新規設立部会)